

議会だより

あまぐさ



目次

議長インタビュー	2
各常任委員会紹介	3
6月定例会、5月・6月臨時会概要	4
質疑あれこれ	4～5
請願・陳情	6
町政を問う あれからどうなった	7
一般質問	8～17
議員って何をしているの？	18
政務活動費一覧	19



大口町議会
ホームページ

No.241

令和6年7月25日
発行：愛知県大口町議会

新たな体制が始動

江口議長に聞く

昨年の町議会議員一般選挙から一年経ち、5月10日開催の臨時会において、副議長をはじめ各委員会の正副委員長を決定しました。議長は、前年度に引き続き、江口昌史議員が務めさせていただきます。



インタビューを受ける江口昌史議長
(議長室にて)

問 本町の令和6年度一般会計当初予算は、前年度より3億7千万円少ない108億円となり、鈴木町長も「立ち止まって考える年にしたい」と述べていますが、議会としては、どのように対応していきますか。

一層の創意工夫と十分な議論を重ねることで、町政の更なる発展に貢献していきたいと考えています。

問 今年度も議長を務められるにあたり、町民の皆様へ一言お願いします。

今年度も議長を務められるにあたり、町民の皆様へ一言お願いします。

答 生産年齢人口の減少や少子高齢化がさらに進むことが危惧される中、今まさに人口減少に歯止めをかけ、人や企業の集積によって、まちの賑わいや経済の好循環を生み出すことによる持続可能なまちづくりが求められています。

答 議会改革に終わりはないと心に刻み、今後も町民の皆様にわかりやすく、開かれた議会を目指し、15名の議員全員の力を結集しながら不断の改革に取り組んでまいります。

問 令和5年4月執行の大口町議会議員一般選挙では、15名の定員のうち8名が新人という、かつてない結果となりました。議会をまとめるにあたり、苦労されたことも多かったかと推察いたしますが、実際どうでしたか。

答 地方議員の成り手不足が社会問題となっており、意欲溢れる8人の新人議員が誕生しました。新人議員においては、初の定例会から、地域における課題解決に向けた提言や、本町の現状把握に関する質疑などを、町執行部に対して積極的に発言する姿も見られ、大変頼もしく感じているところです。

議会といたしましても二元代表制の一翼として町政のチェック機能はもとより、今後も町民の声を真摯に受け止め、より

議員選任監査委員
定例監査、行政監査、決算審査等の経常的監査の実施及び住民請求による監査等の実施の役割を担う



丹羽 勉(任期継続中)

副議長
議会運営が円滑に進むよう議長を補佐し、議長に事故あるときは議長の代わりとして職務遂行の役割を担う



大竹 伸一(再任)

令和6年度大口町議会活動方針(抜粋)

(1) 議会活動の見える化への取り組み

町民に必要とされ、わかりやすく、開かれた議会を目指すために、町民とのふれあい交流事業の開催

(2) 議会改革への取り組み

議員の成り手不足への対応として、議員の定数見直しについての検討

(3) 政策立案に向けた取り組み

先進市町による政策立案、政策提言の取組事例の調査・研究

町の課題をしっかりとチェック

総務建設常任委員会

【所管】

議会議務局・総務部・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会・地域協働部・まちづくり部・建設部・農業委員会・監査委員・会計管理者・他に属さない事項



委員長 藤田 敏英
副委員長 宮川 基英
委員 山崎 卓美
委員 松本 佳子
委員 江幡 満世志
委員 丹羽 勉
委員 鈴木 和江
委員 江口 昌史

地域と企業が一体となる「地域まるごと防災」の仕組み創りを考えてまいります

文教福祉常任委員会

【所管】

健康福祉部・生涯教育部・教育委員会



委員長 仙田 王一
副委員長 酒井 一平
委員 佐名 かよ子
委員 飯田 正志
委員 社本 與七
委員 江口 昌史
委員 大竹 伸一
委員 齊木 一三

より多くの町民のみなさまが健康に生活できる「予防福祉」を考えてまいります

議会広聴広報常任委員会

町民に開かれた議会、町民参加を推進する議会を目指し、議会だより「おおぐち」の編集や意見交換会等を行っている

委員長 松本 佳子
副委員長 山崎 卓美
委員 佐名 かよ子
委員 酒井 一平
委員 宮川 基英
委員 社本 與七
委員 江幡 満世志



みなさまの声を町政にお届けできるよう、力を尽くしてまいります

議会運営委員会

議会運営に関する諸問題や議長から諮問された事項などについて調査審査を行う

委員長 佐名 かよ子
副委員長 仙田 王一
委員 江幡 満世志
委員 鈴木 和江
委員 大竹 伸一
委員 齊木 一三

議会のさらなるデジタル化への調査研究を進めます

臨時会・定例会で全議案可決

令和6年 第4回 臨時会 会期 5月10日

議案 第34号 一般会計補正予算(第1号) 5402万6千円 増額

令和6年 第5回 定例会 会期 6月3日~6月21日

議案 第35号 一般会計補正予算(第2号) 1億4569万6千円 増額

議案 第36号 西小学校運動場整備工事(週休2日)の請負契約について

議案 第37号 大口町老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案 第38号 大口町放課後児童クラブ条例の一部改正について

議案 第39号 一般会計補正予算(第3号) 8136万6千円 増額

議案 第40号 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

議案 第41号 大口町道路線の廃止について

議案 第42号 橋梁建設工事の請負契約の変更について

議案 第43号 道路改良工事(週休2日)の請負契約について

令和6年 第6回 臨時会 会期 6月26日

議案 第44号 大口町道路線の認定について

議案 第45号 西児童クラブ建設工事の請負契約について



本会議での議案質疑及び総務建設、文教福祉の各常任委員会での主な質疑です。

令和6年度一般会計補正予算

基金及び繰越明許費について

問 さくら咲く基金について、1500万円の寄附をいただき、そのまま基金に積み立てているが、その用途の予定は。

答 寄附された企業様から桜の関係で使用して欲しいという意向があったが、今すぐに全額充当するような事業がないため、一旦こちらの基金に積み立てる。今後、どの事業に充当するか、再度この基金の活用を検討していく。

問 財政調整基金積立金に6410万9千円を積み立てる数字的根拠は。

答 補正予算第1号、補正予算第2号で、すでに財政調整基金を崩しているの、先に繰入した分を今回戻すという形で、町税収入等が増えた分から、今回歳出に必要な予算1725万7千円を差し引いた残りを、財政調整基金に積み立てた。

問 繰越明許費がかなり上がっている。これでは当初予算が曖昧なものになる。歳入歳出は一年の会計で締めるのが基本。そのあたりの見解は。

答 本定例会初日に18件の繰越明許費がある旨の報告をした。工事が年度をまたぐ等のやむを得ない状況が生じたものについて行っているが、できる限り年度内で処理するよう心掛けていきたい。

基金とは

自治体が、ある目的のために資金を積み立てるために設置するもの。本町にはさくら咲く基金をはじめ17の基金がある。

繰越明許費とは

歳出予算の一部で、性質上または予算成立後の事由により年度内にその支出が終わらない見込みのあるものを、翌年度に繰り越して使用することができる制度のこと。

補助金について

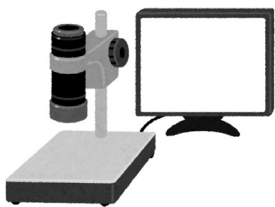
問 道路橋梁費補助金が、大きな減額となっている。その要因は。

答 工事費が上がったこともあり補助金を多く要求したが、県では前年比を参考に査定するため、要望額に対して内示率が下がったものと考ええる。

問 障がい者自立支援事業の法改正対応システム改修費104万5千円のこと

教材備品購入について

問 中学校運営事業でデジタル顕微鏡を購入とのことだが、この顕微鏡を選択した理由は。



計上に対し、補助率は2分の1であり、補助金は半額となるが、適正といえるか。

答 補助率は国が定めており、市町村からの要望で変わるものではない。制度改正に伴うシステム改修についても、国の基準どおりに進めるものであり、補助率の大小に関わらず、対応するものである。

答 従来の顕微鏡では一人一人が代わる代わる見る必要があるが、デジタル顕微鏡であれば検体をプロジェクトに映像を写し出すことで、生徒全員が一つのを一斉に見ることで、授業に効果的である。

衛生費について

問 ごみ減量・資源化事業修繕料追加114万3千円について、河北地区生ごみたい肥化機械1台の修繕料とのことだが、どのような不都合が生じたのか。

答 生ごみを攪拌するモーターが故障し、動かない状態なので、部品の取替え等をする。



河北エコステーション

問 生ごみたい肥化機械の修理の実績と日常点検、定期点検の有無は。

答 今回モーターが破損した機械に関しては、生ごみたい肥化を促進させるための温風装置も故障しており、令和6年度当初予算にあげている。また、定期点検は年一回行っている。

問 生ごみたい肥化機械の台数と稼働年数は。

答 台数は3台のうち2台を稼働させており、平成16年からのでかなり経過している。

問 不燃物集積場整備事業34万7千円について、替地、上小口の不燃物集積場整備事業とのことだが、具体的な整備内容は。

答 替地は、現在ビニールシートで可動式の屋根をポリカーボネートの屋根へ変更、上小口は扉を吊っている金具破損のための修繕である。

条例改正

大口町放課後児童クラブ条例の一部改正について

問 放課後児童クラブは利用者が増加をしていくのではないかと思うが、今後想定されることは。

答 来年度、保護者の就労条件が、現在の75時間

から64時間に変更になるので、利用児童が増える可能性もある。そのあたりは様子を見ながら、また学校とも相談しながら場所等を考えていきたい。

大口町道路線の廃止について

問 東久(株)工場増設に伴う町道大屋敷67号線の廃止。道路2本の間の水路の役割と、今回東側撤去に伴う西側水路への影響は。

答 撤去部分の東側は上流部にあたるが、無くなる田んぼの排水用のため、影響はない。



請 願・陳 情 みなさんの声を慎重審議！ 議会の意思は

要望を町・県・国に伝える方法として「請願」「陳情」があります。みずからが町議会に提出し、これに対して議会は、採択・不採択等の意思表示をします。

●請 願 今回、提出はありませんでした。

●陳 情 ※陳情は、議員の紹介は必要ありません

号	題 名	常任委員会採択結果
5	最低賃金の全国一律化と大幅引上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	総務建設常任委員会において 不 採 択
6	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	総務建設常任委員会において 聞 き 置 く
7	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	総務建設常任委員会において 聞 き 置 く
8	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	総務建設常任委員会において 採 択
9	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	文教福祉常任委員会において 聞 き 置 く
10	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	文教福祉常任委員会において 聞 き 置 く
11	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	文教福祉常任委員会において 聞 き 置 く



説明します

みなさんからの請願陳情は、本会議提出後、慎重に審査するため所管の委員会に付託・送付したのち、請願は本会議で審議を、陳情は委員会で審査をし、採決します。

結 果

- ①採 択…願意が妥当で実現性もあるなどの理由から、過半数の委員が判断したもの
- ②趣旨採択…願意は理解できるが実現性に乏しいときなど、採択には至らないものの趣旨には賛同できること
- ③不 採 択…願意どおり実現すべきものと過半数の委員が判断しなかったもの
- ④継続審査…引き続き審査をする必要があると判断されるもの
- ⑤聞き置く…聞いて心にとめるもの



○陳情第8号 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 について

採択としましたので、本会議において、議員提出議案第2号を提出し、全員の賛成をもって可決しました。

〈意見書概要〉

憲法に基づくナショナルミニマムを保障し、住民が全国のどこに住んでいても健康で文化的な生活が営めるよう地方自治と地方財政を拡充すること等7項目を、令和6年6月21日付けで、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣に対し、提出しました。

上程する定例会	提出期限
令和6年 9月定例会	8月15日
〃 12月定例会	11月15日
令和7年 3月定例会	2月14日
〃 6月定例会	5月15日

請願・陳情の提出には締切日があります。ご希望される方は、提出期限をご確認の上、役場3階議会事務局へご提出ください。

☆請願・陳情提出期限



審査結果はこちらから
ご覧いただけます



町政を問う

10議員が質問

大口町
ホームページ
「一般質問」



YouTube
チャンネル名
「大口町議会」



一般質問とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

仙田 王一	プロモーション事業について 高齢者の暮らしの足について	8
鈴木 和江	認知症・認知症予防について マイナ保険証について	9
佐名 かよ子	保育事業の拡充について 放課後児童クラブでの昼食提供について 子宮頸がんワクチンについて	10
齊木 一三	住宅建築物の耐震化について	11
社本 與七	「歳入」から観る本町の矜持は 「南保育園」建替え、お考えは	12
飯田 正志	町道高橋替地線拡幅について 認知症(アルツハイマー含む) 予防及び対応について	13
大竹 伸一	空き家対策について 町立3保育園における食育サポートについて	14
宮川 基英	子供たちの運動環境の整備を 「こども110番の家」周知徹底を	15
江幡 満世志	子育て支援の拡充を	16
松本 佳子	五条川遊覧船事業 大口中学校の制服 新たな西児童クラブ棟の建設	17

追跡! あれからどうなった?

1年前

の一般質問から2題を選び、
その後を調査しました

新型コロナウイルス感染症
対策が廃止。今後の対策は。

丹羽 勉議員の質問

令和5年5月から「5類感染症」に移行したが、終息していないので、基本的な感染症対策実施の必要がある。ワクチン接種は、令和6年3月末で特定臨時接種が終了。令和6年度から65歳以上を対象に定期接種B類に移行し、秋冬に開始となる。

質問者の満足度 少しずつ日常が戻りつつある今日だが心配は拭えない。4年もの間苦しんできた感染症。国の責任においてワクチン接種無料化の継続を。
もう少し 😐

下小口5丁目交差点渋滞緩和のために右折帯の設置を。

佐名 かよ子議員の質問

令和6年6月現在、道路管理者である「愛知県」に状況を伝えたが、新たな対応については示されていない。

質問者の満足度 この交差点の渋滞緩和によって、トラックの往来がスムーズになり、経済発展につながるので、県に対し粘り強く要望して欲しい。
全然ダメ 😞

高齢者の暮らしの足について

法改正による移動への不安対応は

部長 新たな移動サービスを検討中

問 本町において社会福祉、高齢者の移動面から実施しているサービスとその利用率、その評価は。

健康福祉部長 高齢者の通院や買い物、社会参加を応援するために実施している『外出支援サービス事業』については、令和3年度より助成内容を見直し、高齢者の自立支援、自己決定の観点から個々の状況に合った助成になるよう、『タクシー券のみ』『タクシー券とコミュニティバス回数券の混合』『コミュニティバス回数券のみ』と3種類から選択していただけるようにした。

令和5年度は、585名の交付申請者に対し、タクシー券とバス回数券の混合を選択された方が195名、バス回数券のみを選択した方が23名、タクシー券との混合も含め、37・3%の方が、コミュニティバスを選択されており、制度改正の初年度となる令和3年度の33%から比べると増加している。

問 現状の「外出支援サービス事業」の対象者は条件がある。

コミュニティバスのバス停までの距離があるなど、まだ多くの方が暮らし

しの足が必要としている中、社会福祉協議会において、福祉車両の貸し出しや、運転ボランティアさんを養成されているが、そうした資源の利用はできないか。

健康福祉部長 『新たな高齢者の移動サービス』については、社会福祉協議会において、検討が始められている。

具体的には、移動支援の中でも二つの高い『買い物』を目的に外出される方に対する支援策が想定されており、モデル地区を選定し、準備が整い次第、試行される予定となっている。

詳細はこちら
▼▼▼



令和6年6月定例会
一般質問（仙田議員）



認知症早期発見・早期治療

物忘れ検診を行う考えは

部長 特定検診等で早期発見に努める

問 「物忘れ検診」は、簡単かつ有効と考えるがいかがか。

健康福祉部長 「物忘れ検診」は有効性が感じられるが、今は医療機関へ足が進まない住民が多い。本町では、地域全体で見守り、早期発見につなげていきたいと考えている。

「物忘れ検診」等については、他市町の先進的取り組みに注視しながら認知症対策の推進に努める。

健康福祉部長 MCIは、喫煙や食事などの健康意識の変化により、生活習慣の改善などから早期であれば戻る可能性がある。

規則正しい睡眠、栄養バランスのとれた食事、適度な運動、社会参加等生活習慣予防を呼び掛けている。

問 認知症予防のため、また今後高齢者の生きがい、社会参加の場として、高齢化社会を束ねる老人クラブの役割は大きい。活性化、加入促進のための具体策は。

また今後高齢者の生きがい、社会参加の場として、高齢化社会を束ねる老人クラブの役割は大きい。活性化、加入促進のための具体策は。

地域協働部長 町老人クラブ連合会が、高齢者の生活実態に即した健康づくりや、関心の高い防災、誰でも参加できる「ポッチャ」などを地区活動に取り入れていけるよう、事業の見直しが進められており、町も全面的にサポートしていく。

町老人クラブ連合会が、高齢者の生活実態に即した健康づくりや、関心の高い防災、誰でも参加できる「ポッチャ」などを地区活動に取り入れていけるよう、事業の見直しが進められており、町も全面的にサポートしていく。

MCIとは

軽度認知障害（Mild Cognitive Impairment）のこと。MCIは、認知症そのものではないが、健常な状態でもない。認知症と健常な状態の「中間のような状態」をいう。

とても便利マイナ保険証

資格確認証の使用方法は

部長 当分は健康保険証と同等に使用可能

問 マイナ保険証のとても便利な多機能を使うためには、スマホにアプリが必要か。

健康福祉部長 アプリは必要である。現在、戸籍保険課の窓口で、マイナンバーカードを健康保険証として利用するための設定支援を行っている。

詳細はこちら



令和6年6月定例会
一般質問（鈴木議員）

現在、戸籍保険課の窓口で、マイナンバーカードを健康保険証として利用するための設定支援を行っている。



保育事業の拡充

保護者就労時間の改善を

部長 来年度から64時間に変更

問 多様な保育ニーズに

保護者の就労時間の改善を求めるがいかがか。

対応、質の高い保育を図るため、事業のさらなる拡充が必要と考える。育児休業継続制度の見直し、期間の延長または退園制度の撤廃を求めるがどのようにお考えか。

健康福祉部長 来年度から64時間に変更。

今後の時間数については、様子を見ながら検討していきたい。

健康福祉部長 保育

負担の軽減、通園しているお子さんの気持ちを鑑み、体制的に受け入れが可能かどうか引き続き検討したい。

健康福祉部長 今の

ところは現行の制度を継続する予定。国の子育て支援策の動向を注視しつつ、保育園運営の対応に努める。

問 本町は児童の保護者が居宅内外で月75時間の就労がないと保育園に入園できない。近隣市町は60時間である。

子宮頸がんワクチン

キャッチアップ接種の積極的勧奨を

部長 未接種勧奨はがきを送付する

問 ワクチンの接種人数と接種率は。

健康福祉部長 キャ

ッチアップ接種対象の女性、1246人のうち、令和6年3月末で、1回以上接種した人は、326人で接種率は26.2%である。

問 助成がない町民の接種費用は。

健康福祉部長 9価

ワクチン3回接種で8万3325円、2価・4価は3回接種で5万325円。

問 令和6年度で終了のキャッチアップを、SNSや公共施設等への掲示等、モニターを使うなど若者の目に止まるような啓発はできないか。

健康福祉部長 未接種勧奨はがきを7月頃送る予定にしている。広報おおぐちやホームページ、メールやライン、ポスター掲示など、国からの新しい情報を取り入れ周知啓発に努める。

問 小中学校で助産師等、専門家による命の授業の形ででも性教育を男子も含めて実施できないか。

健康福祉部長 中学校で実施している「命の授業」で広く指導していく。

詳細はこちら



令和6年6月定例会
一般質問（佐名議員）

住宅建築物耐震化の現状と対策

住宅の耐震化に向けての計画は

部長 積極的な周知・勧奨をしていく

問 住宅の耐震化率について、大口町の現状は。

建設部長 令和2年度の大口町耐震改修促進計画では、町内の住宅総数は6795棟、耐震性ありの住宅は5911棟で、耐震化率は約87%である。

問 戸建ての旧耐震木造住宅1330棟のうち、耐震診断を受けた住宅は559棟で、771棟は未だ耐震診断を受けていない。

なかなか進まない住宅の耐震化に対する町の考えは。

建設部長 耐震性がないと判断される住宅は、たくさんあると感じている。能登半島地震を受け耐震への関心が高まっている中、より効果的なPRの仕方を工夫し、周知・勧奨を強化する。

また、補助制度を利用した耐震改修は58棟、除却は11棟、防災ベッドは2件で、耐震化が十分と言える状況ではない。

問 2000年基準（地盤の耐力に応じた基礎構造、筋違金物や柱頭柱脚接合金物の使用規定、耐震壁の配置バランスなどが規定された基準）以前の建物の耐震性への認識は。

建設部長 熊本地震では、2000年基準以前の耐震基準の木造住宅でも被害があったので、絶対に安全だとは言えないと認識している。

問 2000年基準以前の耐震基準の木造住宅も耐震診断を行い、耐震改修を促す必要があるのでは。

建設部長 2000年基準以前の耐震基準の木造住宅であっても、耐震化を促す必要性は感じている。

問 2000年基準以前の耐震基準の木造住宅も耐震診断を進め、耐震改修へ繋げる政策の考えは。

建設部長 一般財団法人日本建築防災協会が取りまとめた「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」が公表されているため、まずは、所有者の方で自己チェックしていただくようPRしていく。

問 耐震化促進に向けて強化していく具体的な計画は。

建設部長 耐震への関心が高まりを見せている今、広報誌やホームページだけでなく、防災行政無線やあんしん安全メール、ライン・フェイスブック・XなどのSNSの活用、人が集まるイベントにおいてチラシを配布し、積極的な周知・勧奨をしていく。

詳細はこちら



令和6年6月定例会
一般質問（齊木議員）



脈々と息づく先人たちの想い

「歳入」から観る本町の矜持は

部長 自立性の高い財政状況を次世代に引き継ぐ

問 本町の「自主自立の精神」とは。

総務部長 令和

6年度予算は自主財源の割合が72・7%であり、年間予算の大多数を自主財源で賄うことができています。すなわち、自立性の高い財政運営をしていると見ることができると。

本町は、普通交付税が交付されない不交付団体として財政運営をしてきた。これは、先人たちが積み重ねた努力が現在においても、目に見える形で引き継がれていることを意味している。



参考文献「大口町史現代史編」令和6年3月発刊

「おおぐち」には悠久の歴史がありますが、1945年以降は、世の中の飛躍的な発展から一旦取り残されながら、それに立ち向かった先人の尽力によって今日の繁栄を掴み取る、まちの歴史にとって大きな変化を重ねる画期です。

大口町史現代史編「はじめに」より

詳細はこちら

令和6年6月定例会
一般質問（社本議員）

大口町立南保育園

建て替えについてのお考えは

部長 順次準備を進めていきたい

問 老朽化が進む「南保育園」の建て替えのお考えは。

健康福祉部長 今年度で西児童クラブ棟の建設の目途がつくので、順次準備を進めていきたい。



町道高橋替地線拡幅後について

交通量の増加、本町の対策は

部長 ガードパイプ設置と路面塗装を予定

問 町道高橋替地線の天神社前道路が拡幅になるため、交通量の増加とスピード超過の可能性があると思われるが、本町の対策は。

建設部長 現在県の事業として、国道155号の4車線化が進められており、交通安全対策から、中央分離帯が設置され大型車などに対応した迂回路が必要になるため、迂回路として想定しているひとつが町道高橋替地線になる。

令和6年度は歩道の拡幅と車道と歩道を区画するガードパイプの設置、矢戸小橋の歩道部の増設、西側車道部の増設。
令和7年度は東側車道と歩道を区画するガードパイプの設置、東側車道部の舗装の施工予定。矢戸川北側部（丸栄工業）までの車道部分を含め、舗装西側歩道部のガードパイプ設置並びに安全対策として路面塗装の実施予定。

認知症予防及び対応について

本町医療機関で新薬投与の可能性は

部長 本町一般のクリニックでは難しい

詳細はこちら
▼▼▼



令和6年6月定例会
一般質問（飯田議員）

問 認知症の種類は、主なものとして4種類あり、認知症全体の70%弱がアルツハイマー型認知症とされている。

昨年12月に公的医療保険の対象になったアルツハイマー型認知症の新薬「レマネカブ」について、本町の医療機関に対応を含む投与の可能性は。

健康福祉部長 耐アルツハイマー病の新しい治療薬レマネカブは2023年9月に薬事承認され、大きな期待が寄せられているところである。

治療できる医療機関は限られており、本町の近隣では春日井市民病院・名古屋徳州会総合病院・総合大雄会病院で開始されたと聞いている。一般のクリニックでの治療はまだ難しいと思われる。



空き家対策について

管理不全空き家等の現状は

部長 本町では21件が該当している

問 空き家の活用は、在勤者の定住を増やし、町の活性化・人口増に期待がもてる。

本町の空き家対策とその周知は。

問 改正空き家対策特措法では管理不全空き家等が新設されたが、本町の管理不全空き家の現状は。

まちづくり部長 在勤者支援補助制度では、新築や建売住宅の購入は20万円、空き家を活用する方は100万円の補助をしている。制度の活用周知には、町内企業にお勤めの方々に情報が届くよう、積極的にPRしていく。

まちづくり部長 令和5年度末時点で管理に問題がある空き家は21件ある。

この法改正により、適切な管理ができず放置されれば、特定空き家等に該当する恐れがある。この状態が継続されれば、管理不全空き家等と定義され、先の21件がこれに該当するものと判断している。

町立3保育園における食育サポートは

食育活動と子どもの健全育成を

部長 地域とのふれあいを大切にしたい

問 各園の活動状況は。

健康福祉部長 園児に農業体験の場を提供していたっており、園児は食に興味・関心を持ち、知識を身につけるなど、食物の大切さを感じている。また、年度末には「感謝のつどい」を開催し、園児との交流も深めている。

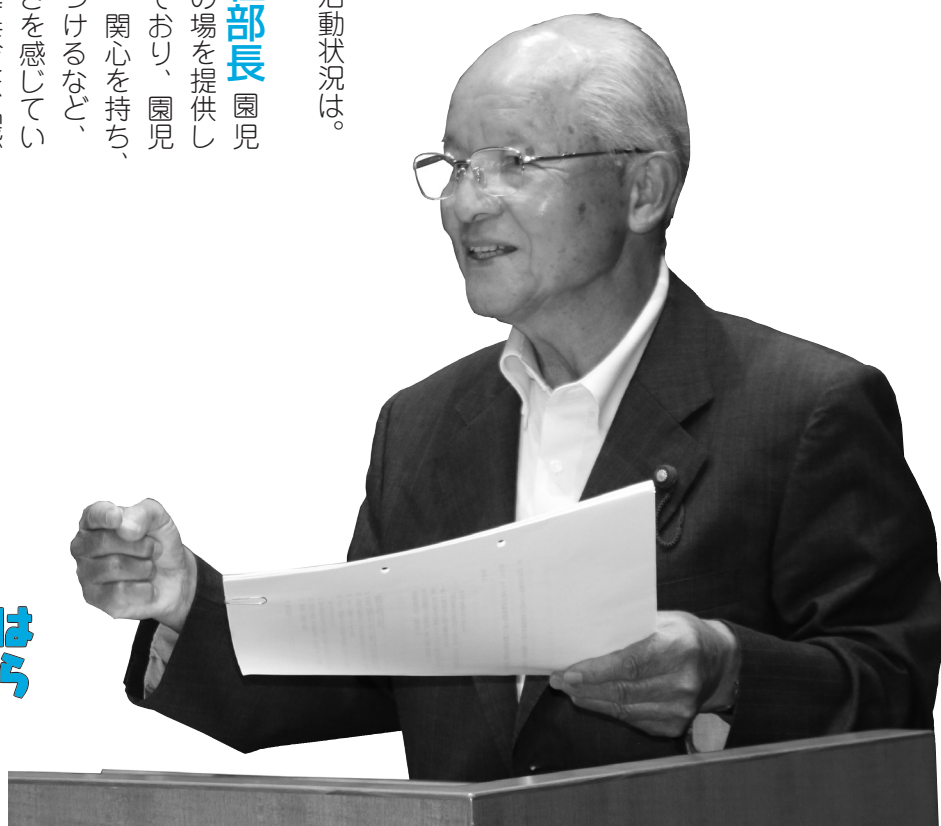
問 3園のサポート隊員を組織化することによるメリットはあると思うがいかがか。

健康福祉部長 効率的な運営ということではメリットがあると思うが、地域の皆さんと四季を通じたふれあいを大切にしたいと思っているので、これまで通り、地域の方に協力をいただき取り組んでいきたい。



詳細はこちら

令和6年6月定例会
一般質問（大竹議員）



子どもたちの運動環境の整備を

運動能力低下に対する取り組みは

部長 運動できる機会を広げていきたい

問 「ゴールデンエイジ」の年代に運動環境を提供するための施策は。

教 育 長 日頃

生涯学習部長 町内で活動するスポーツクラブ等と連携を取りながら、ゴールデンエイジ世代が対象となる活動を注視し、運動できる機会を広げられるように進めていきたい。

からスポーツを楽しむことができる社会の実現を目指し、ソフト面では各種スポーツ関連団体との連携を進めることで、ハード面においては老朽化が進むスポーツ施設の修繕・改修を計画的に行いながら、町民の皆さんに安心してご利用頂けるように取り組んでいきたい。

問 将来を見据えたスポーツ振興について、町の大局的な見解は。

ゴールデンエイジ

人間の生涯のうち、最も運動能力を伸ばすことができるといわれている年代。概ね9歳～12歳頃までとされ、これ以降運動神経は発達しないといわれる。

「こども110番の家」

周知方法は

部長 新年度当初の一斉下校時に確認

詳細はこちら



令和6年6月定例会
一般質問（宮川議員）

問 本町には現在何件の登録があるか。

生涯教育部長 個人と事業所を合わせて44件にご協力を頂いている。

問 「こども110番の家」の意義及び設置場所を周知するための方法について、町の見解は。

生涯教育部長 毎年8月に町広報誌で「こども110番の家」に委嘱されている事業所等の名称、場所及びその意義を

掲載し、住民の皆さんに啓発している。また、各小学校において、新年度当初の一斉下校時に児童と担当の教員が一緒になって行っている「通学路点検」に併せて「こども110番の家」の場所を確認している。



子育て支援の拡充を

中学卒業まで給食費を無償に

部長 実施することも検討していく

問 保育園の給食費が小中学校よりも高いが、無償にできないか。

健康福祉部長 令和元年に幼児教育・保育が無償化され、保育料に含まれていた副食代は、国の通知で月額4500円を目安にと示されたことで4000円にした。主食代は、引き続き無償にしている。

問 令和4年4月に創設された国の臨時交付金は、学校給食費の保護者負担軽減に向けた取り組みをとのことだが、交付金の活用内容は。

総務部長 令和4年度は給食物資の価格高騰分や保育園の賄材料費に対する助成事業として、令和5年度はすでに実施している給食費等の半額助成に充てている。

問 公立小中学校と町営保育園の給食費を全額助成できないか。

生涯教育部長 学校給食費の半額助成は、年間5600万円ほど、保育園の主食代補助が500万円ほどを助成している。

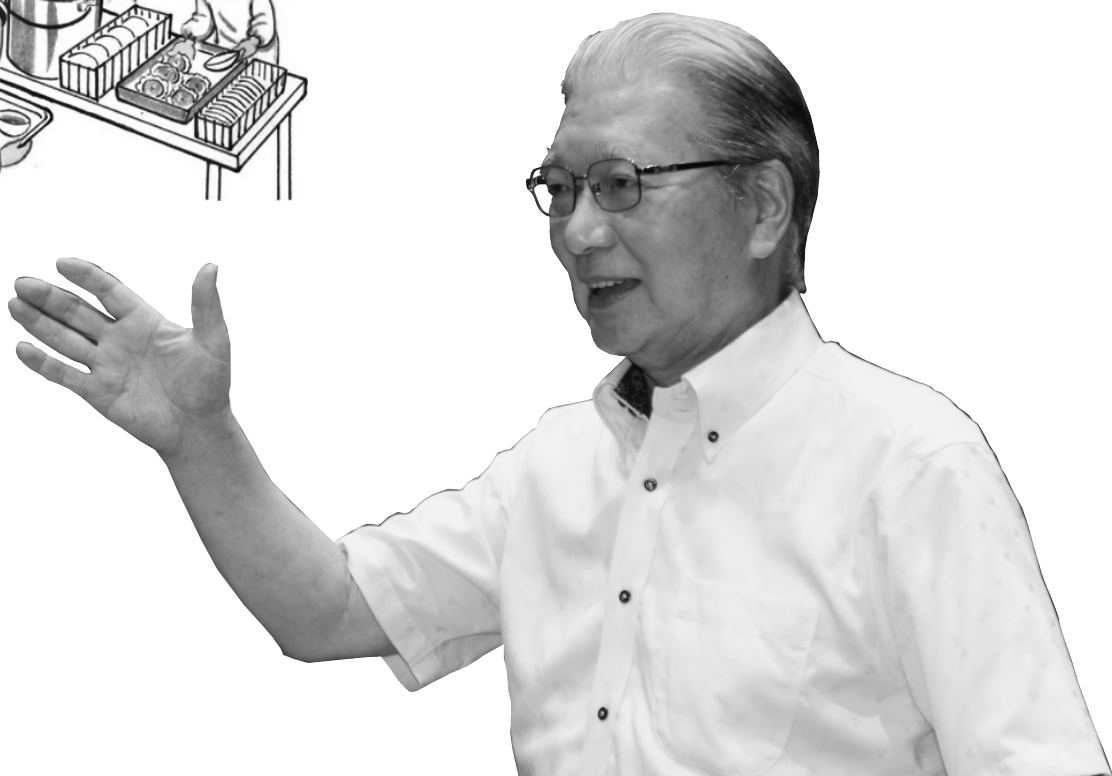
現在、国による給食費の無償化が検討されており、その状況によつては、国に先んじて実施することも検討していく。



詳細はこちら
▼▼▼



令和6年6月定例会
一般質問（江幡議員）



放課後児童クラブ

本町が理想とする放課後児童クラブとは

部長 子どもたちが安心して過ごせる居場所

問 西児童クラブ棟の建設に伴い、児童数も増えるかと思うが、支援員の対応は大丈夫か。

健康福祉部長 体制的には現在と同様に実施できるが、人数の増加などがあれば、必要に応じて支援員の募集をしていきたいと考えている。

問 本町が理想とする放課後児童クラブとは、どのようなクラブか。

健康福祉部長 放課後児童クラブは、留守家庭の児童が下校後楽しく過ごす場所である。

詳細はこちら
▼▼▼



令和6年6月定例会
一般質問（松本議員）

西児童センターは、今後、町内の子育て団体さん、子どもたちが楽しく生き生きと過ごすことができる場となるよう、運営の協力をお願いできないかと考えており、児童センター、児童クラブ、小学校と連携をしながら、全ての子どもたちが安心して過ごすことができる居場所づくりに努めていきたい。

大口中学校の制服

これからの在り方、今から議論を

部長 真剣・慎重に取り組んでまいりたい

問 現在の大口中学校の指定服は、どのような位置づけか。

生涯教育部長 中学校の指定服は「制服」の位置づけである。

現在では、中学校で指定した体操服、ジャージも「制服」とみなしており、学生服を「式服」、体操服、ジャージ等を「通常服」という呼び方で区別している。

問 制服に対する調査研究に対し、今から真剣に取り組む必要があるのではないかと思うが、いかがか。

生涯教育部長 これ

から中学校に通う子どもたちやその保護者の声を聴きながら、ジェンダー

レスや気候変動に配慮し、また、家庭環境についても配慮した制服の在り方について、時間はかかるかもしれないが、真剣・慎重に取り組んでまいりたいと考えている。



議員って何をしているの？

大口町議会の5～7月の主な活動です



「議員って何かはしてるとは思うけど、何をしているのかよくわからない」

そのようなお声をよく聞きます。「何を？」といわれると、一言では説明が難しいですが、その一部をお伝えできればと思います。

①



保育士の業務負担軽減と効率化を図るために導入したICTの活用状況を視察

②



公職選挙法についての議員研修会

③



議会だよりの編集会議の様子
議会だよりの取材・撮影・編集などは議員で行っています。

月日	本会議・委員会など	内容(特記事項)
5月	10日 第4回 臨時会	副議長選挙,各種委員会正副委員長選任
	15日 委員長会議	議長の今年度の活動方針 →P.2 参照
	20日 総務建設常任委員会協議会	
	21日 文教福祉常任委員会協議会	
	28日	議会運営委員会 第5回定例会の進行,一般質問,陳情
		全員協議会
		広聴広報常任委員会 議会だより241号内容検討
	31日	委員長会議 各委員会の今年度の活動方針決 →P.3 参照
		議会報告会実行部会 →P.19 参照
6月	1日 障がい者スポーツ大会	来賓 競技参加 →P.1 参照
	3～21日 第5回 定例会	→P.4～17 参照
	11日 議会報告会実行部会	→P.19 参照
	12日 総務建設常任委員会、協議会	委員会付託議案,陳情の審査
	14日	文教福祉常任委員会、協議会 委員会付託議案,陳情の審査
		北保育園視察 ICT化への取り組み状況の視察 ①
	21日 議会運営委員会	第6回臨時会の進行
	26日	第6回 臨時会
		全員協議会
7月	27日 議員研修会	公職選挙法について ②
	9日 広聴広報常任委員会	議会だより241号の校正
	16日	総務建設常任委員会協議会
		広聴広報常任委員会 議会だより241号の校正 ③
	18日 文教福祉常任委員会協議会	
	20日 愛知県消防操法大会	団員激励
	26日 議会報告会実行部会	
	29日 全員協議会	

一部事務組合や広域連合等の議員も務めており、定例会や臨時会に出席します。
議長は、県町村議会議長会の研修や会議にも参加します。

令和5年度 議員 政務活動費 実績報告

政務活動費は、地方議会の議員に調査研究等の活動のために交付される費用で、大口町議会では実費後払い方式により各議員に年間6万円を限度に交付しており、情報公開の規定等を条例・規則で定めています。

議席番号	議員名	支出額(円)	支出内訳(円)		支出内容
1	山崎 卓美	55,000	調査研究費	50,584	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
			広報費	4,416	活動報告印刷費
2	佐名 かよ子	30,670	研修費	30,670	議員セミナー
3	酒井 一平	50,584	調査研究費	50,584	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
4	宮川 基英	50,984	調査研究費	50,984	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
5	飯田 正志	50,784	調査研究費	50,784	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
6	社本 與七	55,000	調査研究費	50,784	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
			資料購入費	4,216	書籍購入
7	松本 佳子	55,000	調査研究費	49,084	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
			資料購入費	5,916	書籍購入
8	江幡 満世志	15,258	資料購入費	15,258	書籍購入
9	丹羽 勉	17,575	資料購入費	17,575	書籍購入
10	仙田 王一	50,984	調査研究費	50,984	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
11	藤田 俊英	55,000	調査研究費	50,884	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
			事務費	4,116	消耗品購入
12	鈴木 和江	55,000	調査研究費	50,584	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
			資料購入費	3,850	書籍購入
			事務費	566	消耗品購入
13	江口 昌史	50,984	調査研究費	50,984	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
14	大竹 伸一	55,000	調査研究費	52,304	自動運転バス視察等(茨城県境町他)
			資料購入費	2,696	書籍購入
15	齊木 一三	50,984	調査研究費	50,984	自動運転バス視察等(茨城県境町他)

議員政務活動費・議長交際費の詳細はこちらから
もご覧いただけます



年額6万円を限度に交付（ただし、改選により5万5千円の議員もあり）。
なお、議員が積極的に調査、研究、その他の活動等を行うことにより、一層視野を広げ、資質を上げるため、令和6年3月定例会において条例改正し、令和6年4月1日より限度額を年間12万円としました。

開催予告

議会報告会
及び
防災講座&座談会

10月12日(土) 14:00～
健康文化センター4階にて

テーマは
「防災」

あなたの声
をお聞かせ
ください

6年ぶりに議会報告会を開催するため、ただいま準備中!!
詳細については、広報おおぐち10月号折込チラシにてご案内予定です
みなさまのご参加をお待ちしております

まちかどインタビュー

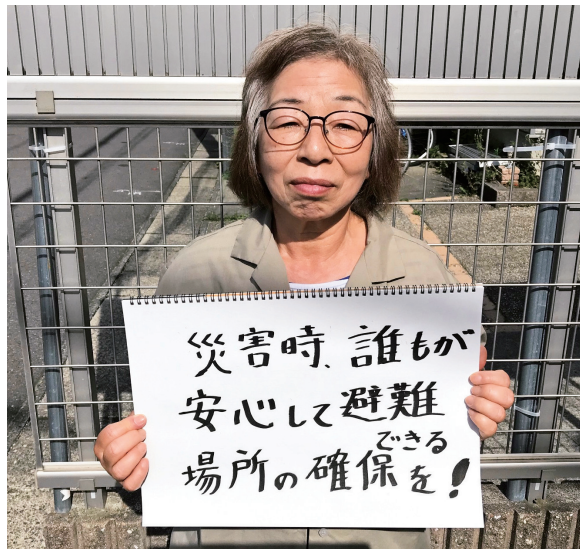
～大口町に期待することは?～

まちかどインタビューでは、毎号、住民の方から「大口町に期待すること」について、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



市内の信号のない横断歩道の旗入れが劣化しているため、事故のない安心・安全な町になるために、整備と管理徹底をお願いします。

(羽田野さん 大屋敷地区)



大きな災害時、避難所には何人を収容できるのか、非常用物資は十分にあるのか、とても心配です。

(津田さん 余野地区)

寄付行為の禁止



議員はお金やお酒等の
寄付行為は禁止されています。
有権者が求めてもいけません。
ご理解をお願いいたします。

会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



9月定例会予定

- 9月 2日(月) 開会・提案説明
- 9月 5日(木) 一般質問
- 9月 6日(金) 一般質問
- 9月10日(火) 議案質疑
- 9月11日(水) 議案質疑・委員会付託
- 9月13日(金) 総務建設常任委員会
- 9月18日(水) 文教福祉常任委員会
- 9月25日(水) 討論・採決・閉会

※日程は、変更になる場合があります。

【今月の表紙】

「障がい者スポーツ大会」

この大会は、障がいのある方がスポーツを楽しむことはもちろん、町民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加を推進させることを目的としています。

本町の誰ひとり取り残さない共生社会実現に向けての施策を議会も応援します。

江口昌史	議長	発行責任者
松本佳子	副議長	
山崎卓美	委員	
佐名かよ子	委員	
酒井一平	委員	
宮川基英	委員	
社本與七志	委員	
江幡満世	委員	